

【風来坊 2025】【スライド動画】【Photo Album】

紹介記録 神戸 晩秋を飾る銀杏の黄紅葉 布引山の徳光院

新神戸駅のすぐ北の小高い布引山中 静寂の「徳光院」から「布引の滝」へ 2025.12.2.

徳光院境内に入ると街中の喧騒を忘れる紅葉の別世界 神戸紅葉の隠れ名所 ゆったりと時を楽しむ



新神戸「布引滝 雄滝」のすぐ近く、
神戸布引谷の右布引山の山中にひっそり
と徳光院がある。

三宮・新神戸の市街地のすぐそばですが、
交通の便が悪いので、知る人ぞ知る隠れ
た紅葉の名所。

紅葉した静かな森に包まれた別世界、今
日は紅葉を写生する人が境内に5人ほど。
毎度ながら黄紅葉した境内の散策をゆっ
くり楽しむ。

布引滝・徳光院 その上の布引ダム そ
して、六甲連山の縦走路等々
街の背後に連なる六甲連山の山裾に分け
入って、四季折々訪ねる私の散歩道。 神戸の街中すぐそばにこんなに素晴らしい滝や森の散策路がある



記録【紹介】神戸 晩秋を飾る銀杏の黄紅葉 布引山の徳光院 2025.12.2.

大容量の記録になり、閲覧オープンに少し時間がかかりますが、お許しください

【PDF File】<https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0712NunobikiTokkoInweb.pdf>

【Photo Album】<https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0712NunobikiTokkoInphoto.pdf>

【スライド動画】<https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0712NunobikiTokkoIn.mp4>

■「和鉄の道・Iron Road: <https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/monthlyindex.htm>



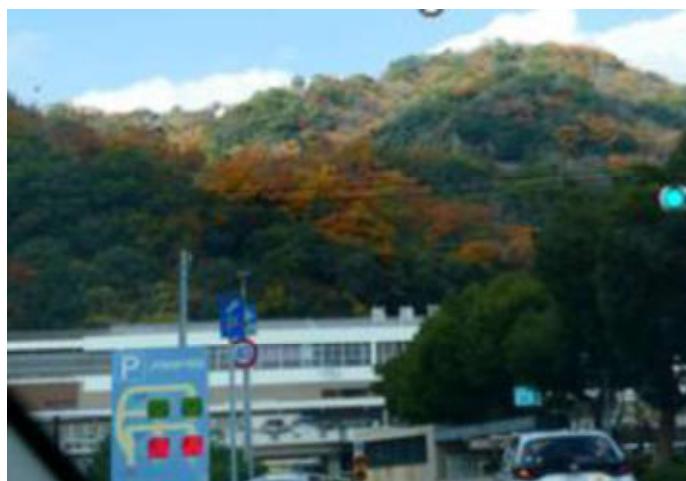
神戸 晩秋の銀杏の黄紅葉が素晴らしい徳光院

布引山中「静寂の徳行院」から布引の滝へ 2025.12.2.

布引の滝「雄滝」の東の小さなお寺「徳行院」境内に入ると紅葉の別世界

紅葉の隠れ名所 散策や給算を走らす等々ゆったりと時を楽しむ

晩秋 銀杏紅葉の素晴らしい時にあわせ出かけました。



布引谷 布引の滝 雄滝 2025.12.2.

山中 紅葉の隠れ名所「静寂の徳行院」2025.12.2.

新神戸駅のすぐ後 布引谷東の小高い布引山山中 静かな森に包まれて、晩秋の紅葉の美しい寺徳光院



◆徳光院について

徳光院縁起

大圓山徳光院は、明治39年(1906年)の創建である。禅宗の一派、京都嵯峨野の臨済宗天龍寺派に所属し、夢想国師の法燈を掲げる。当時の管長高木龍源禅師を請じて開山とした。

神戸に所縁のある川崎造船所(現川崎重工業)の創始者川崎正蔵翁が民衆教化の禅道場創立を発願して、境内530坪(1750平米)及び本堂、庫裡、山門、鐘楼などの伽藍を建立或いは移築して、一寄進を以って開基された。

その後、約50年間に亘って、川崎家代々の庇護のもと多宝塔、開山堂、弁天堂、茶室、納骨堂等々の建物を増やし、約4000坪(13,200平米)の境内地を擁する現在の輪龕が整えられた。

この地は、元の布引滝勝寺(通称滝寺)の跡地といわれる。同寺の縁起によると、滝寺は文武天皇初年(697年頃)、役の小角が布引の滝において修法し、馬頭観音を祀り創建した寺で、一時七道伽藍、七十有余の僧房、末寺を有し、頗る隆盛を極めたと伝えられる。

惜しいかな、天正七年(1575年)、花隈城主荒木村重謀反に依る滝山城落城の兵火によって、悉く焼失したのである。

布引山に隣接して、「寺ヶ谷」「教の尾」「口円光坊」「奥円光坊」等の地名があるのはその名残りであろう。

滝寺は栄枯盛衰を経て、大正9年(1920年)市内熊内町に移り、今は真言宗の名刹として栄えている。

また、すぐ前の砂子山(通称門山)は、神功皇后、上田神社創祀の靈地として、約五百年後ここに鎮座せられたが、滝寺創建の頃(697年頃)、熊内郷に遷座、さらに百年後、延暦十八年(799年)、生田の森に遷座せらる云々と伝えられている。この砂子山山頂附近と寺の境内地から弥生時代の土器が出土し、現在神戸市立博物館に委託保存されている。





晩秋 静かな布引の森の中 徳光院の素晴らしい黄紅葉
布引山中 紅葉の隠れ名所「静寂の徳行院」 2025.12.2.



晩秋 静かな布引の森の中 徳光院の素晴らしい黄紅葉
布引山中 紅葉の隠れ名所「静寂の徳行院」 2025.12.2.



布引谷 布引の滝 雄滝 2025.12.2.



布引谷 布引の滝 雄滝 2025.12.2.

昨年晚秋の徳光院の黄紅葉を思い浮かべつつ、
期待一杯で 布引山徳光院へ向かう



出発点は新神戸駅前 駅の正面右手の小高い山が徳光院がある「布引山」
いつもはまっすぐ駅を潜り抜け、布引谷・滝道に入るが、今日は駅東の跨線橋を渡って、
山の右側熊内町から山の裏側へ。山沿いの車道「布引/大龍寺線」から布引山を回り込んで
紅葉した森の中 静寂に包まれた徳光院へ 2025.12.2.



駅東の跨線橋を北に渡って、布引山の右側熊内町から山の裏側へ。
山沿いの車道「布引/大龍寺線」から布引山を回り込んで紅葉した静寂の森の中徳光院へ。
そこから、連絡遊歩道を通って西の布引滝の滝道へ出て、布引谷を下って新神戸の駅に戻る
紅葉した布引山を一周して、師走の飾り付けがされた北野の街 異人館通りから三宮の街へ
秋の終わり黄紅葉した徳光院をゆっくり楽しむ約3時間のwalkです 2025.12.2.午後



布引山の東側 熊内町から車道の布引/大龍寺線から布引山を回り込んで
紅葉した森の中 静寂に包まれた徳光院へ 2025.12.8.

布引山の東側 熊地町を北へ奥の高校への通学路でもある布引谷の奥市原へ伸びる
布引大龍寺線の坂道 先の十字路で左へUターンの坂道 布引山へ分け入る坂道を登れば
道の奥 紅葉した布引山の森に包まれた徳光寺



狭い十字路を左にUターンして布引山を登って、新神戸の駅の上方、高等学校の校舎
の間を抜けて徳光院の東門をくぐり 徳光院の境内で車は細くなり、境内の奥から、
布引谷側新神戸駅や上の布引ダム下の新神戸へ降れるれるのですが、遊歩道と重なる
ので、車は??? (布引大龍寺線 緊急車両のみ?) Google Earthより



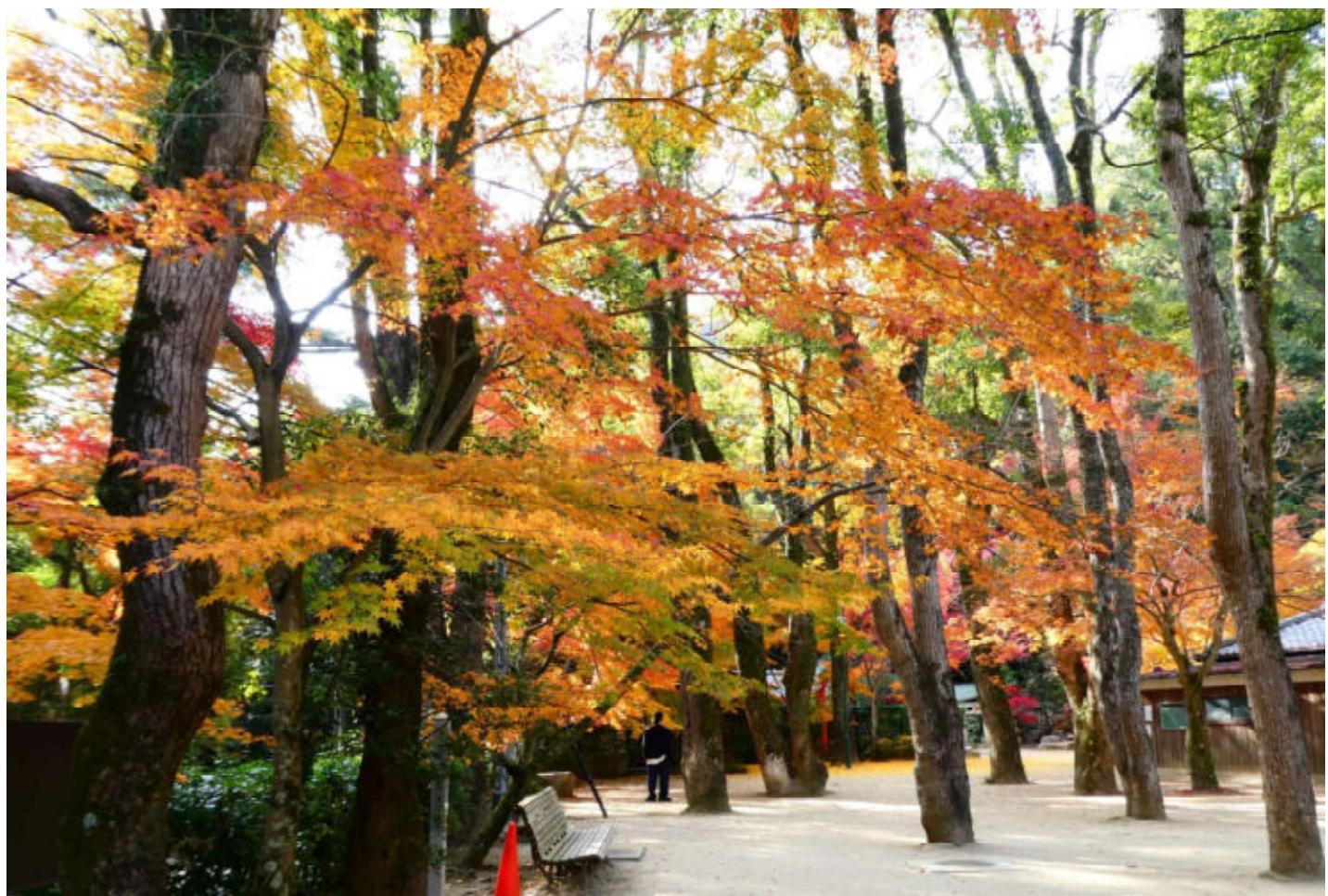
正面に紅葉した布引山の森の中 徳光院の東門 2025.12.2.

徳光院の境内で車は細くなり、境内の奥から、布引谷側新神戸駅や上の布引ダム下の新神戸へ降れるれるのですが、遊歩道と重なるので車は緊急車両のみ。この奥徳光院の駐車場はなし。なお、車道の布引大龍寺線本線は東門のすぐ手前から北へ折れて徳光院の裏側を回って奥へ。



紅葉した徳光院境内と多宝塔が見える徳光院本堂正面 境内入口

この奥から道は布引谷の連絡路で徳光院山門もすぐ奥 森の中にあるが、駐車スペースはない。



参道左手には静寂の中 巨樹が林立する素晴らしい紅葉の徳光院境内 知る人ぞ知る紅葉の徳光院
今日 境内にはゆっくりと紅葉を楽しみながら写生をする人など私を含めて数人の静寂の森 た





諸宮の森に匂まれて正面一段高いソース一古文並び徳光院。太陽 2025.12.2



◆徳光院について

徳光院縁起

大圓山徳光院は、明治39年(1906年)の創建である。禪宗の一派、京都嵯峨野の臨濟宗天龍寺派に所属し、夢想國師の法灯を掲げる。当時の管長高木龍淵禪師を請じて開山とした。

神戸に所縁のある川崎造船所(現川崎重工業)の創始者川崎正蔵翁が民衆教化の禅道場創立を発願して、境内530坪(1750平米)及び本堂、庫裡、山門、鐘楼などの伽藍を建立或いは移築して、一寄進を以って開基された。

その後、約50年間に亘って、川崎家代々の庇護のもと多宝塔、開山堂、弁天堂、茶室、納骨堂等々の建物を増やし、約4000坪(13,200平米)の境内地を擁する現在の輪奐が整えられた。

この地は、元の布引滝勝寺(通称滝寺)の跡地といわれる。同寺の縁起によると、滝寺は文武天皇初年(697年頃)、役の小角が布引の滝において修法し、馬頭観音を祀り創建した寺で、一時七道伽藍、七十有余の僧房、末寺を有し、頗る隆盛を極めたと伝えられる。

惜しいかな、天正七年(1575年)、花隈城主荒木村重謀反に依る滝山城落城の兵火によって、悉く焼失したのである。

布引山に隣接して、「寺ヶ谷」「教の尾」「口円光坊」

「奥円光坊」等の地名があるのはその名残りであろう。

滝寺は栄枯盛衰を経て、大正9年(1920年)市内熊内町に移り、今は真言宗の名刹として栄えている。

また、すぐ前の砂子山(通称円山)は、神功皇后、生田神社創祀の靈地として、約五百年後ここに鎮座せられたが、滝寺創建の頃(697年頃)、熊内郷に遷座、さらに百年後、延暦十八年(799年)、生田の森に遷座せらる云々と伝えられている。この砂子山山頂附近と寺の境内地から弥生時代の土器が出土し、現在神戸市立博物館に委託保存されている。

Web 徳光院案内より

徳光院 多宝塔

重要文化財 国指定昭和四十六年

多宝塔は、下層は平面形が正方形で、上層は平面形が円形をした二重塔で、円形の塔身で構成される「宝塔」に方形の裳階(もこし)を付けた構造になっています。

市内で唯一の多宝塔で、県下では最古のものです。もとは、垂水区名谷の明王寺にありましたが、明治三十三年に川崎邸(現在の新神戸駅付近)に移され、さらに、昭和十三年に、現在の場所に移築されました。

木組みの一部に、室町時代の文明五年(一四七三年)の墨書きの銘が見られ、柱にも、文明十年(一四七八年)の銘が残っています。

再度の移築修理にもかかわらず、当初の遺構がよく残され、室町期建築の様式、技法を知るうえで貴重なものです。塔内には薬師如来(文明八年)がまつられています。

神戸市教育委員会 徳光院案内板より



正面参道左脇 紅葉の中に多宝塔 2025.12.2.



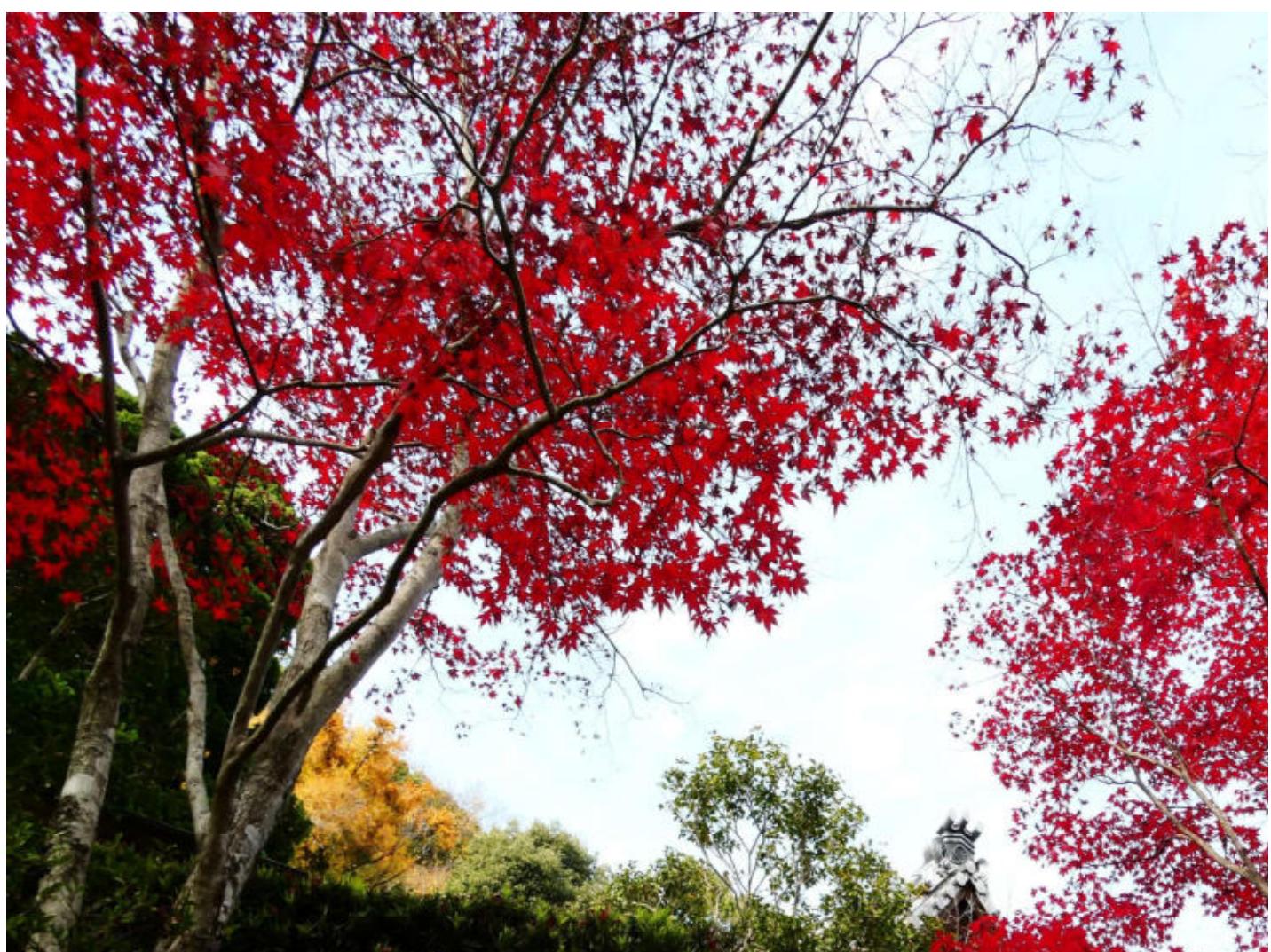
正面参道上 徳光院本堂脇から眺める紅葉の中の多宝塔 2025.12.2.



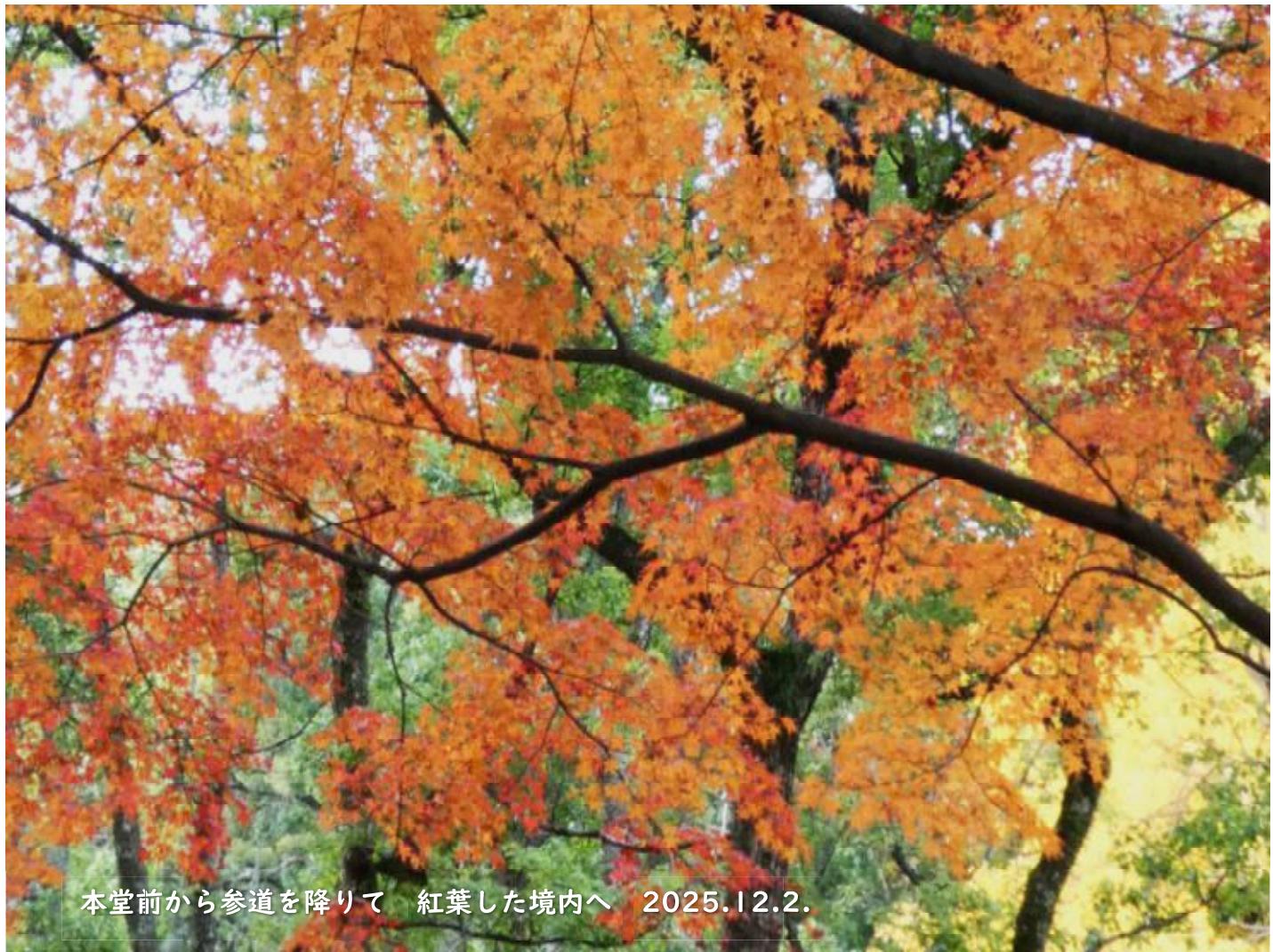
徳光院境内参道本堂前で 西の庫裡 2025.12.2.



徳光院境内参道本堂前で 紅葉越しに正面参道下を眺める 2025.12.2.





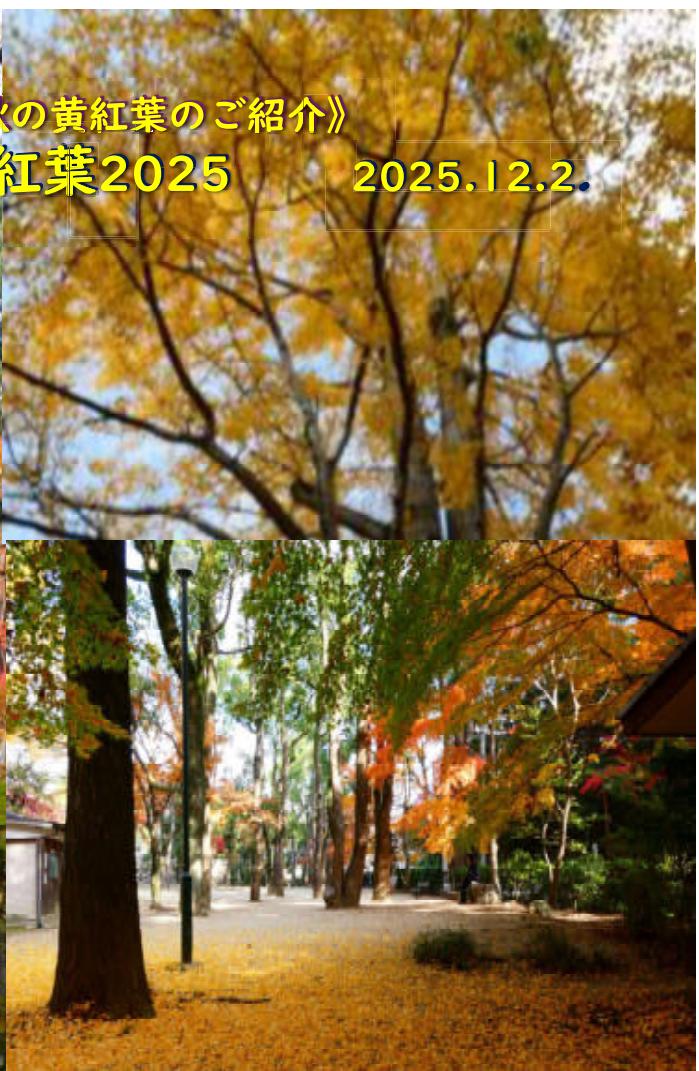


本堂前から参道を降りて 紅葉した境内へ 2025.12.2.



《神戸の静かな心やすめ所 晩秋の黄紅葉のご紹介》
徳光院 境内 銀杏の黄紅葉2025

2025.12.2.



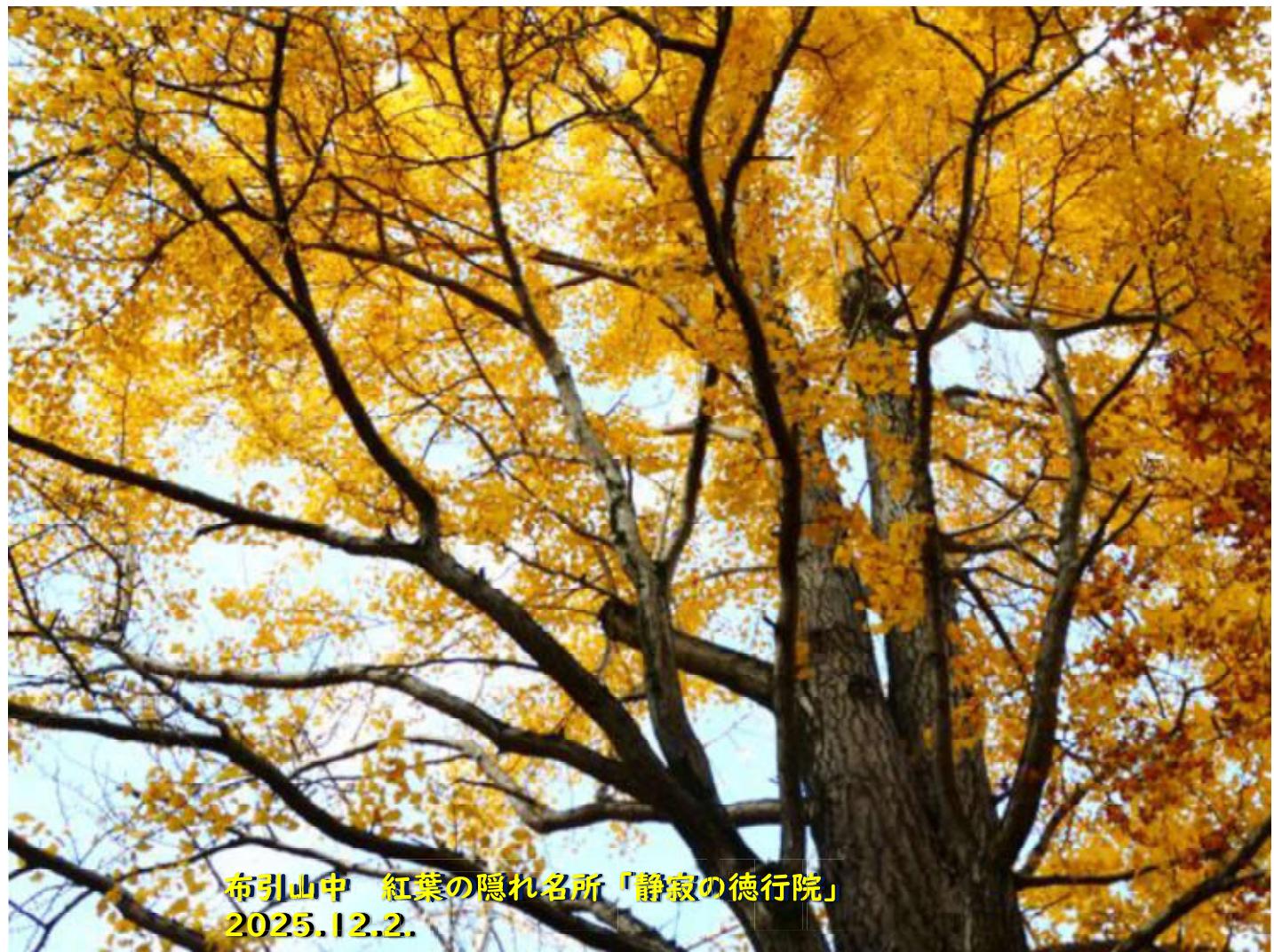


徳光院 境内 大空に枝を伸ばす銀杏の黄紅葉 2025.12.2.

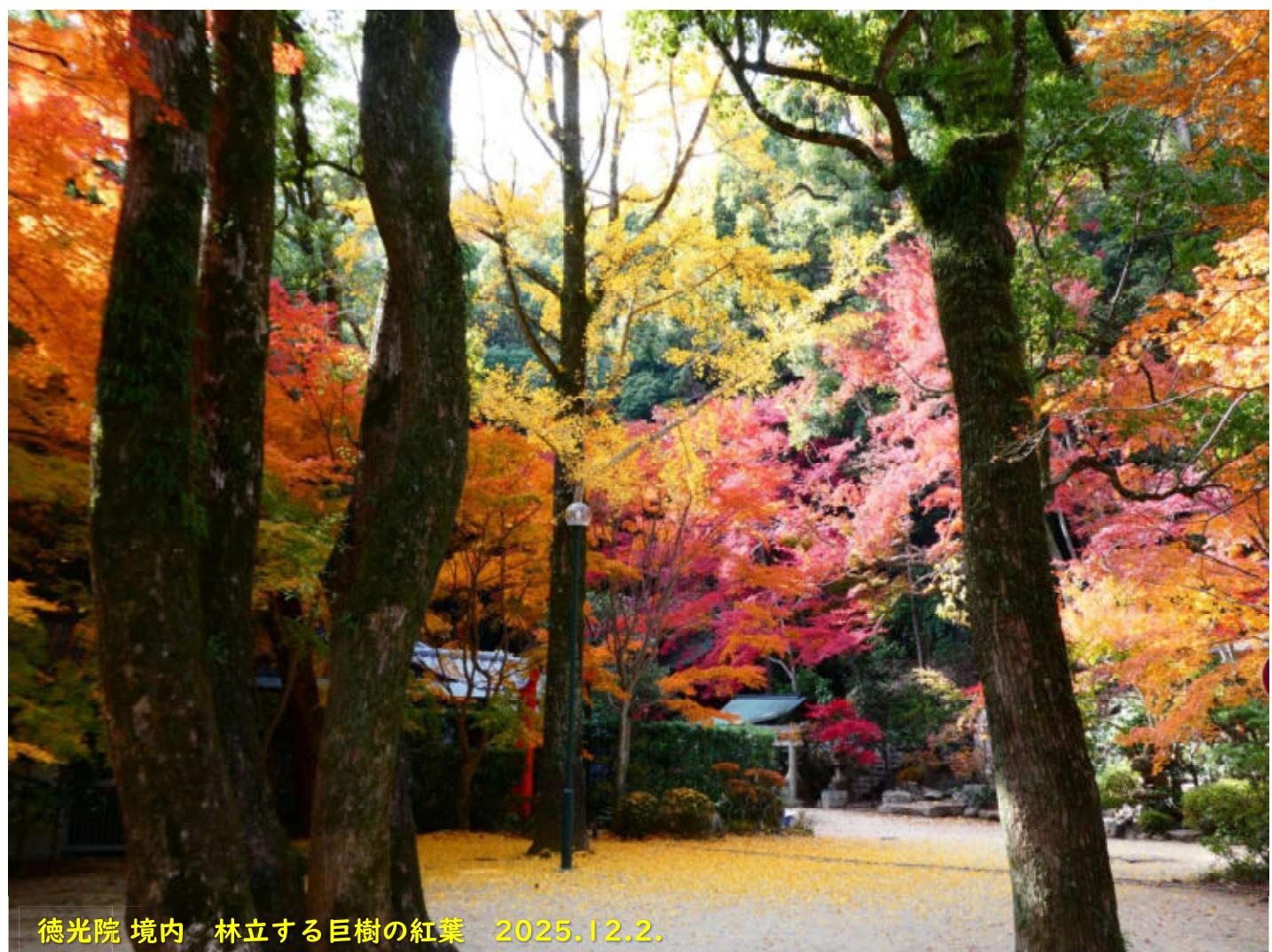


晚秋 静かな布引の森の中 徳光院の素晴らしい黄紅葉
布引山中 紅葉の隠れ名所「静寂の徳行院」2025.12.2.





布引山中 紅葉の隠れ名所「静寂の徳行院」
2025.12.2.



徳光院 境内 林立する巨樹の紅葉 2025.12.2.



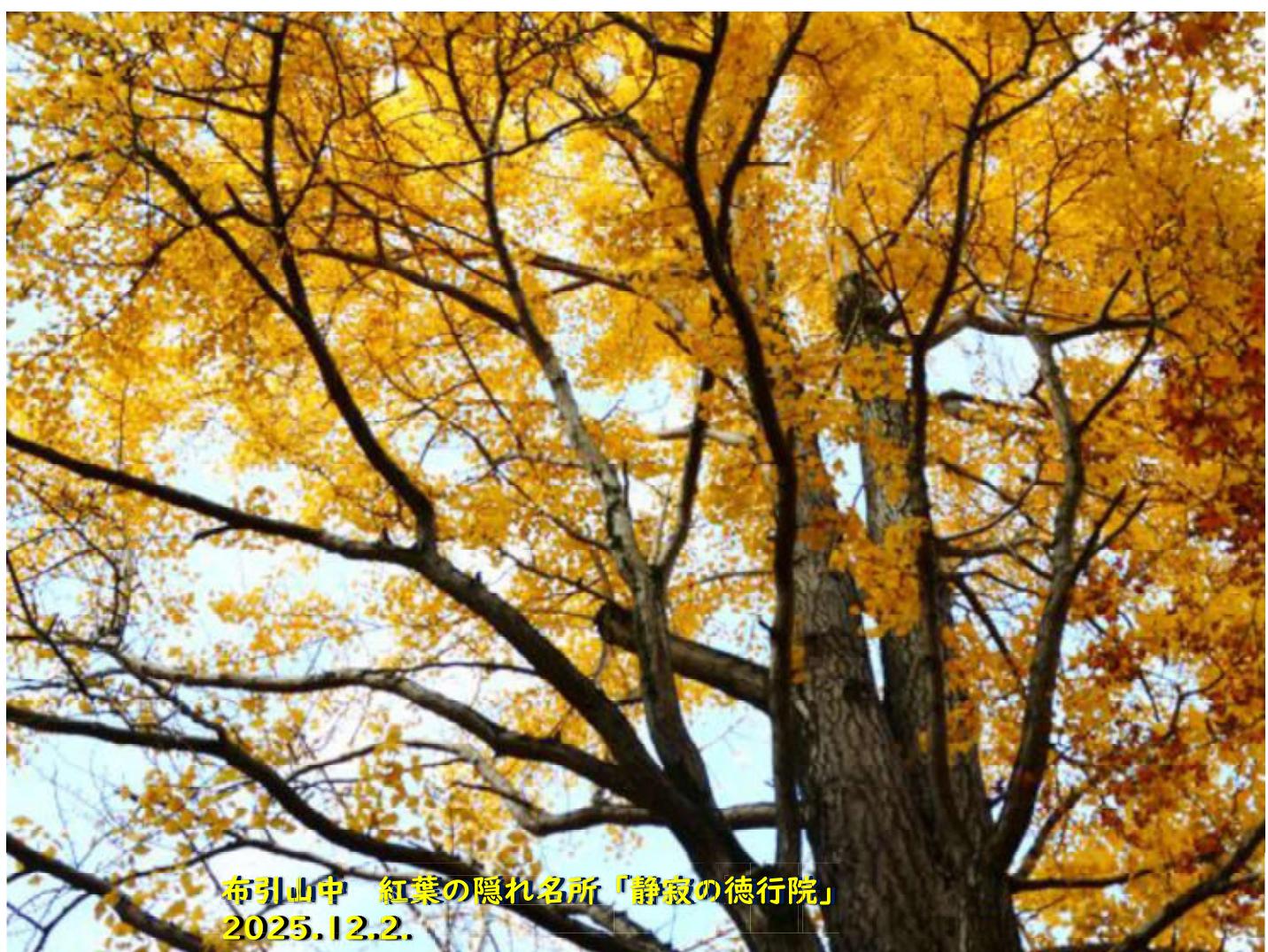
徳光院 境内 林立する巨樹の紅葉 五社稻荷鳥居前
2025.12.2.



徳光院 境内の紅葉 2025.12.2.



布引山中 紅葉の隠れ名所「静寂の徳行院」 2025.12.2.



布引山中 紅葉の隠れ名所「静寂の徳行院」
2025.12.2.





徳光院境内の紅葉を見て、徳光院正面入口に戻って境内に沿って西の布引谷へ 2025.12.2.





境内を抜けると道は南に折れ、西側境内の広場。

道の北側角に五社稻荷神社入口の鳥居を次々とくぐって

境内へ向かう人たち、 神戸徳光院も神戸の人の毎日散歩の道なんだと

2025.12.2.



本年も徳光院の素晴らしい銀杏の黄紅葉眺めることができました。

満足感一杯で境内を南西端に抜けてか布引の滝道への連絡路へ 2025.12.2.



徳光院の南西端の広場に沿って南へ下れば新神戸駅の方へ出る道のすぐそばに
赤い徳光院の山門が見得る。もともとこちら側が徳光院の表参道なんだと・・



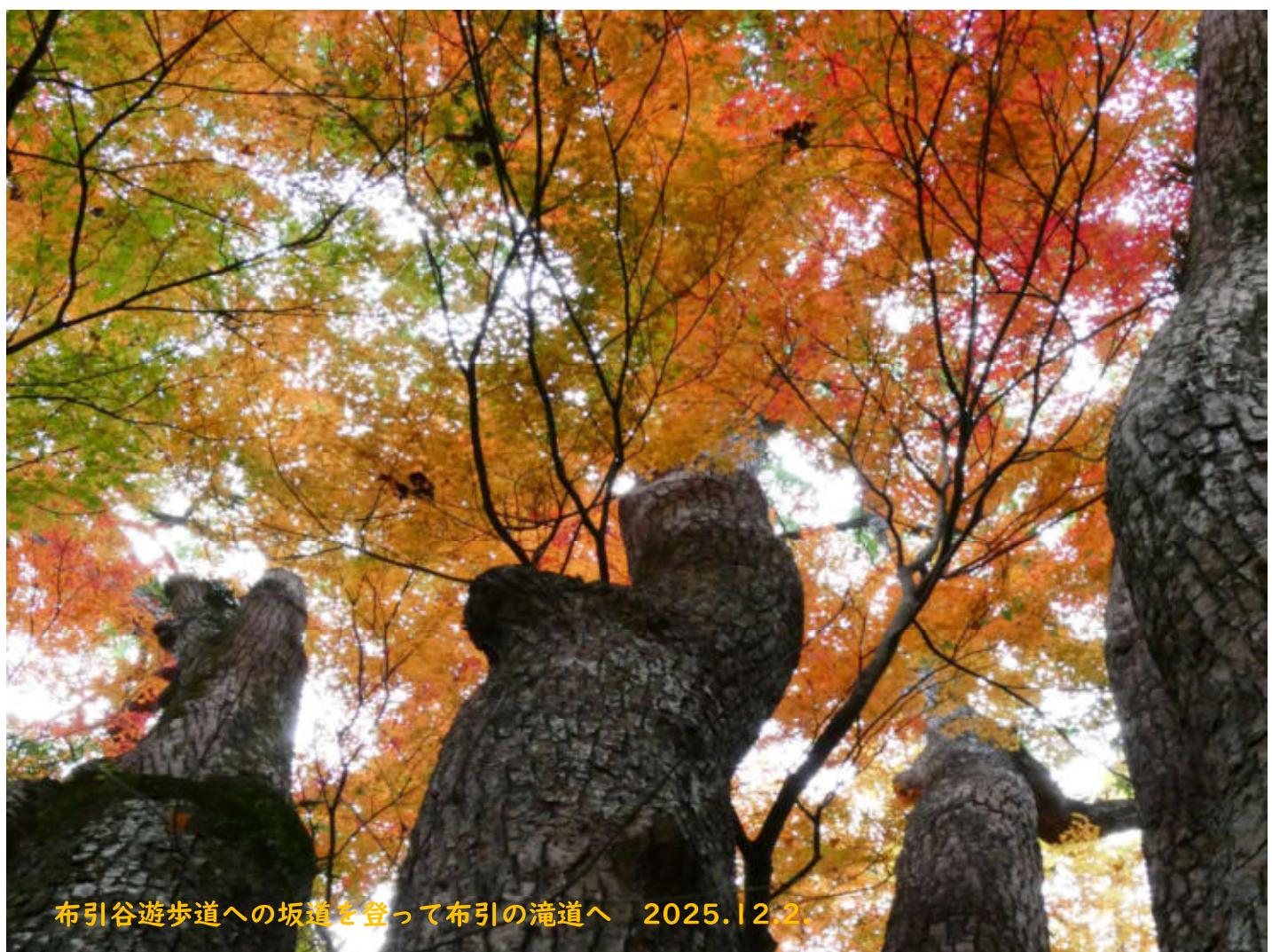
境内の南西端 赤い徳光院の山門 2025.12.2. •



境内の南西端 赤い徳光院の山門 2025.12.2. .



山門を潜って広場側に戻って、境内北西端
布引谷遊歩道への坂道を登って布引の滝道へ 2025.12.2.



布引谷遊歩道への坂道を登って布引の滝道へ 2025.12.2.



布引谷遊歩道への坂道を登って布引の滝道へ 2025.12.2.



坂道の上 布引谷遊歩道との出合い
右の展望台・布引ダム方面へ行かずに
布引滝の滝道の入口へ 2025.12.2.



坂道の上は大きく空が開け 布引山の山上南端部・2025.12.2.



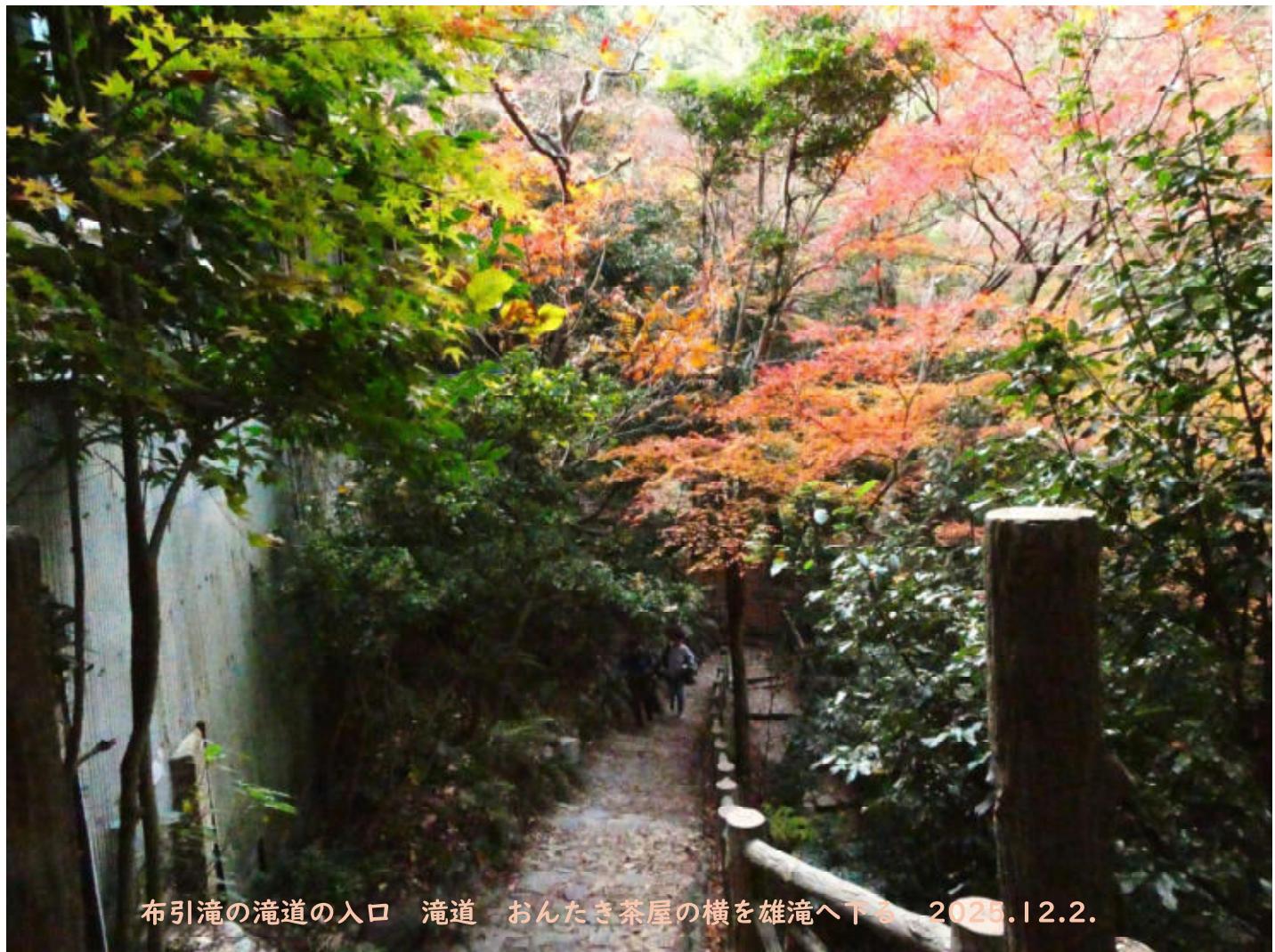
坂道の上は大きく空が開け 布引山の山上の南端部に出ると、
新神戸の尖塔ビルなど神戸三宮の街のビル群が見える。2025.12.2.



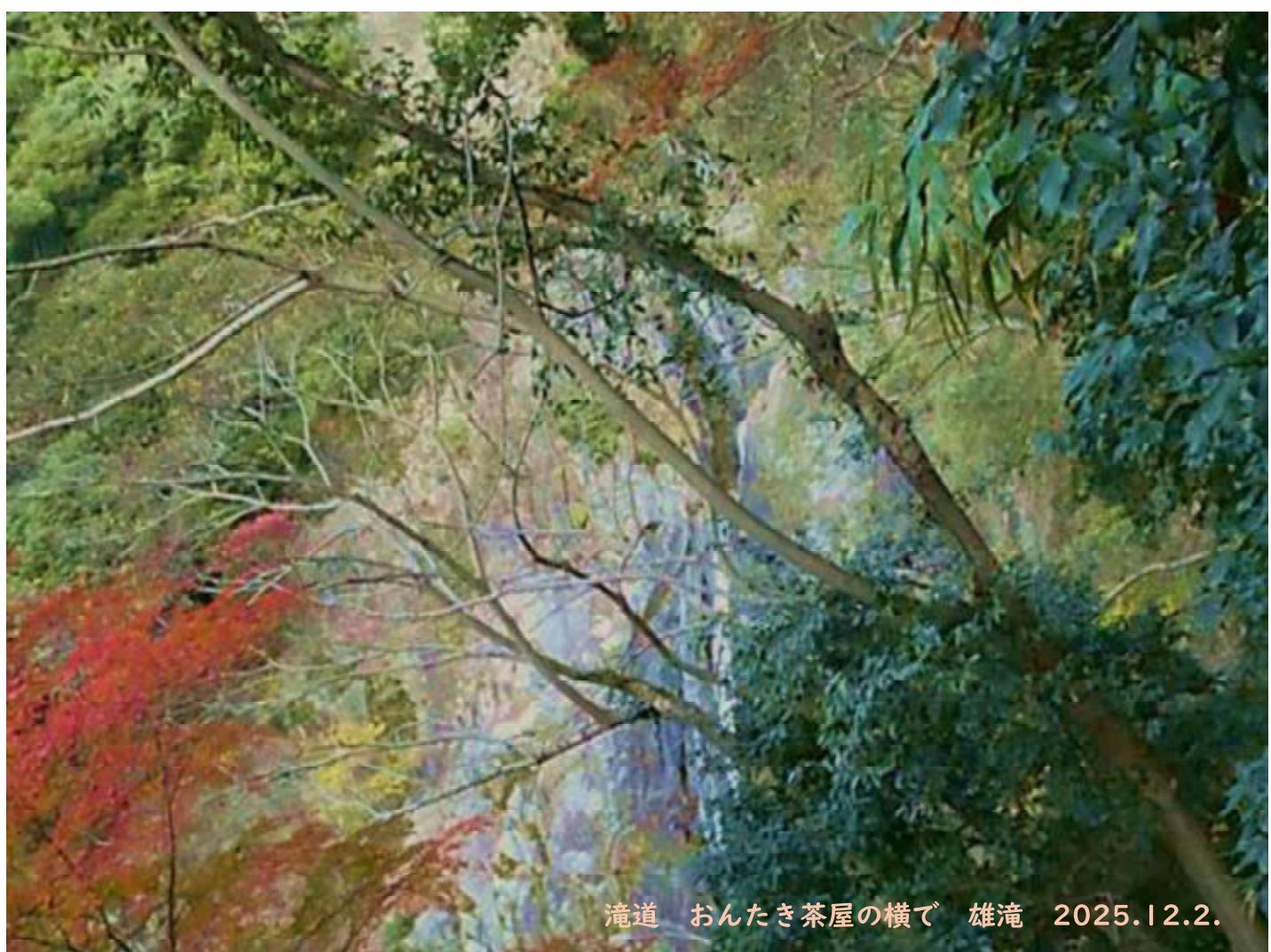
坂道の上 布引谷遊歩道との出会い。
右の展望台・布引ダム方面へ行かずに布引滝の滝道の入口へ
2025.12.2.



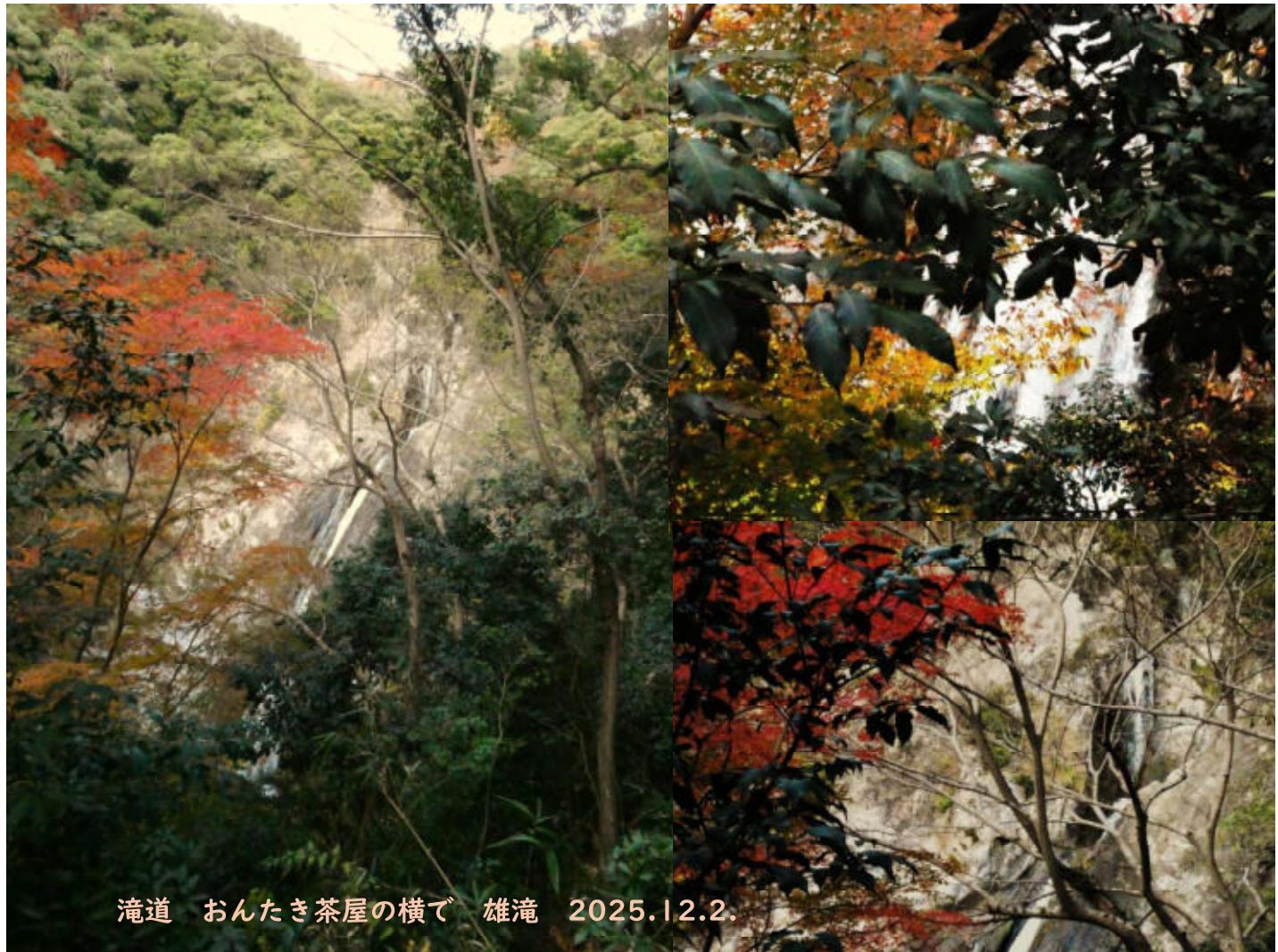
布引滝の滝道の入口 おんたき茶屋の横を雄滝への遊歩道下る 2025.12.2.



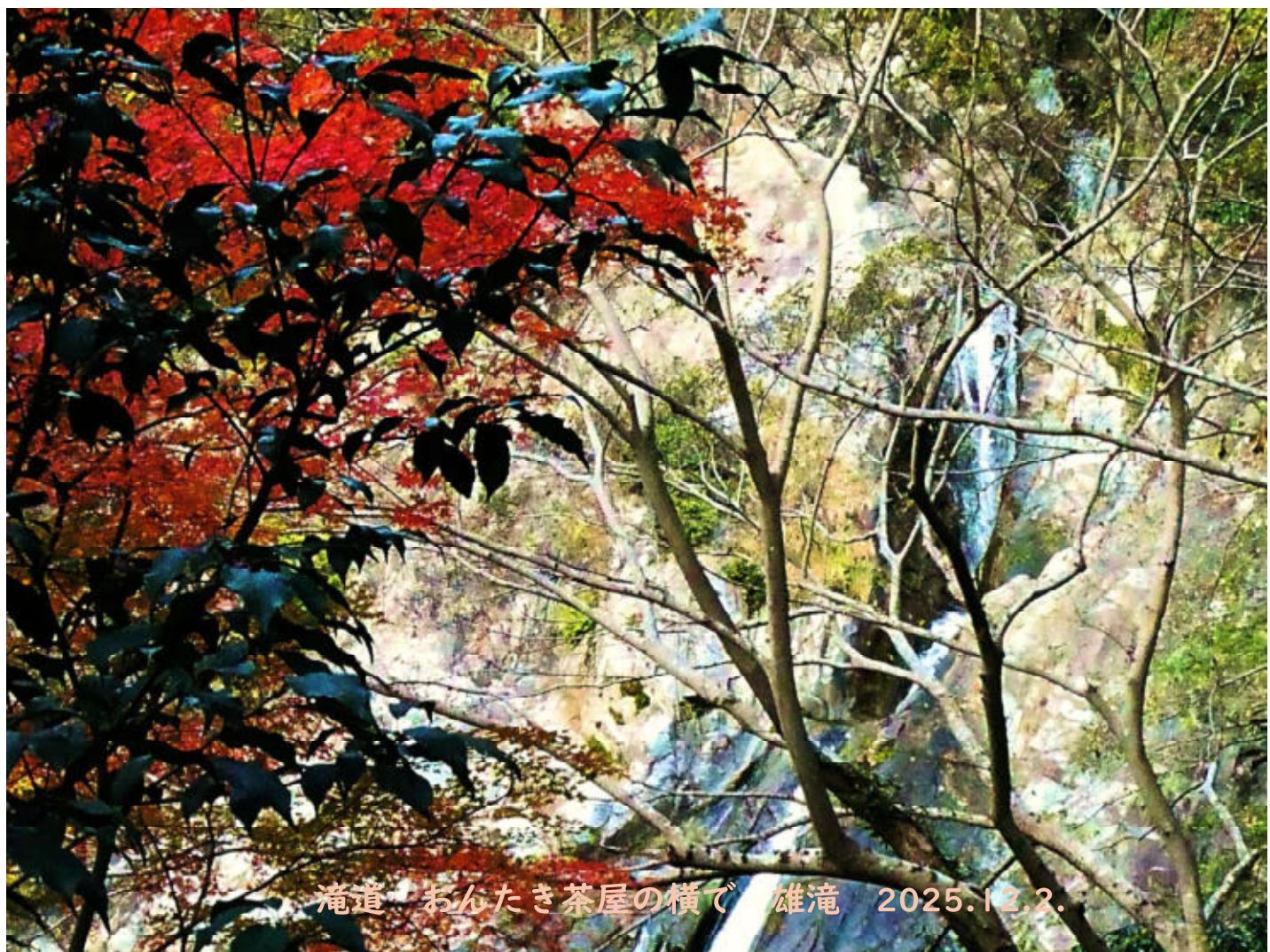
布引滝の滝道の入口 滝道 おんたき茶屋の横を雄滝へ下る 2025.12.2.



滝道 おんたき茶屋の横で 雄滝 2025.12.2.



滝道 おんたき茶屋の横で 雄滝 2025.12.2.



滝道 おんたき茶屋の横で 雄滝 2025.12.2.



布引谷 布引の滝 雄滝

2025.12.2.



布引谷 布引の滝 雄滝

2025.12.2.

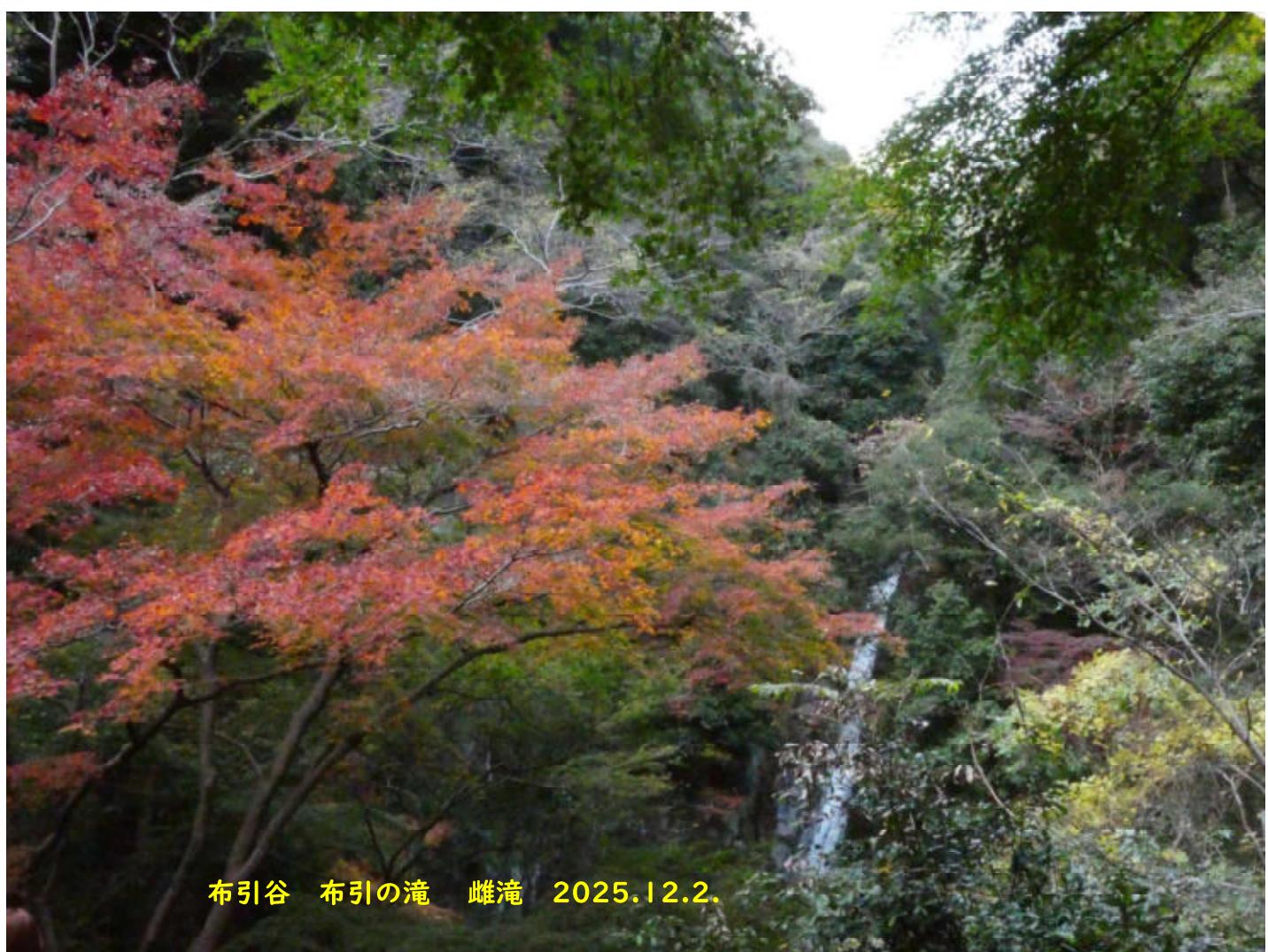




布引谷 滝道 雌滝 2025.12.2.

滝道は神戸の人気スポット

滝道に出ると多くの人とすれ違う 外国からの観光客も多い



布引谷 布引の滝 雌滝 2025.12.2.



布引谷の森の中を抜けて新神戸駅 見上げる空は秋の青空 谷を渡るロープウェイ
気になっていた徳光院の黄紅葉そして秋の布引滝のPhotoも撮れ、うれしいwalkに
暦はもう師走。街中の師走の写真もちょっと撮って帰路に 2025.12.2.



新神戸駅のすぐ後布引谷東の小高い布引山山中静かな森に包まれて、晩秋の紅葉の美しい寺徳光院
今年も布引の森を彩る素晴らしい徳光院の黄紅葉に出会えました
布引の滝はよく知られていますが、神戸でもほとんど知られていない徳光院の黄紅葉
神戸の街中 観光客の行かない黄紅葉の隠れ名所の記録を兼ねた紹介。長くなりました。



新神戸駅南から西へ坂道を上ると北野の街
思ふ館通りにはもう見なきさんのサンタクロースの飾り付け 2025.12.2

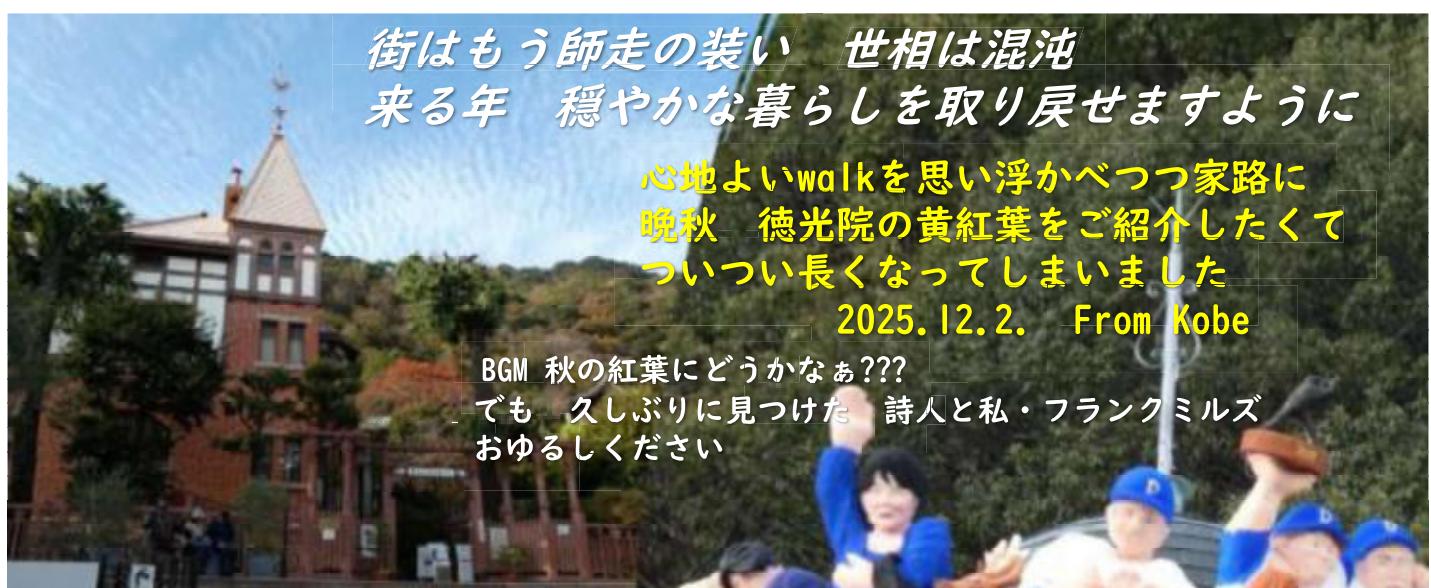


うろこの館の上には ドジャースの選手たち 2025.12.2



北野から南へ下ると三宮 生田の森 生田神社本殿前には 毎年飾り付けられる
来年の干支「午」の大きな絵馬が飾り付けられていました 2025.12.2. 生田神社で







兵庫県神戸市北区・北野・北野天満宮・北野天満宮



北野から南へ下ると二宮 生田の森 生田神社参道前には、毎年飾り付けられる
来年の干支「牛」の大きな絨毛馬が飾り付けられていきました。2025.12.2. 生田神社で



師走 三宮の商店街は相変わらずの盛りです。2025.12.2.



うろこの館の上には ドジャースの選手たち 2025.12.2



梅はもう師走の装い 世相は混沌
来年は 穏やかな暮らしを取り戻せますように

心地よい街の紅葉を思い浮かべつつ家路に
徳光院の黄紅葉をご紹介したくて ついつい長くなってしまいました
2025.12.2. From Kobe



うろこの館の上には ドジャースの選手たち 2025.12.2

街はもう師走の装い うろこの館の屋根にはドジャースの3選手達や高石首相

世相は混沌 厳しい時代の中で迎える年になりそうですが、

みんながみんな 穏やかな暮らしを取り戻せますように

心地よい今日の神戸紅葉 walk を思い浮かべつつ家路に

晩秋 徳光院の黄紅葉をご紹介したくて ついつい長くなってしまいました

師走の神戸の街に出て 2025.12.2. From Kobe

記録【紹介】神戸 晩秋を飾る銀杏の黄紅葉 布引山の徳光院 2025.12.2.

大容量の記録になり、閲覧オープンに少し時間がかかりますが、お許しください

【PDF File】<https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0712NunobikiTokkoinweb.pdf>

【Photo Album】<https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0712NunobikiTokkoinphoto.pdf>

【スライド動画】<https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0712NunobikiTokkoin.mp4>

■「和鉄の道・Iron Road: <https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/monthlyindex.htm>